

兵庫県水産技術センターだより

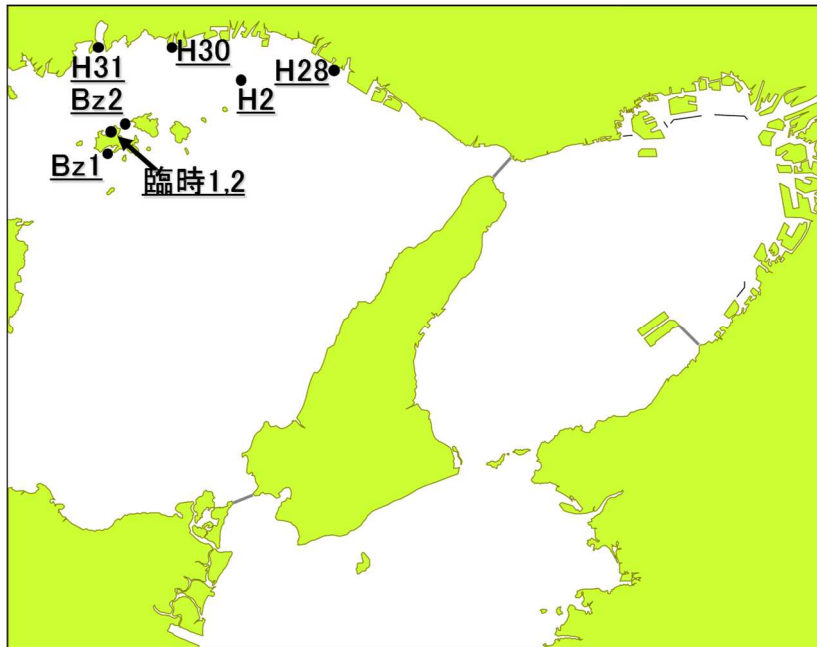
赤潮情報 AK-02-11 号 (播磨灘北部)

令和2年8月12日発行

8月12日に赤潮プランクトン調査(播磨灘北部：定期調査及び臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・沖合域を中心に、魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン(シャットネラ・オバータ)がやや多く発生しており、警戒が必要な細胞密度を上回っている海域もあります。魚類養殖、活魚の運搬や畜養、漁船の航行には十分にご注意ください。
- ・北部の沿岸域の表層では、珪藻類(無害種)が増殖しており、海水の着色はこれによるものが主体です。
- ・今後とも海況や海色の変化にご注意願います。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値	
注意体制： 10 細胞/ml	警戒体制： 100 細胞/ml
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	
注意体制： 500 細胞/ml	警戒体制： 5,000 細胞/ml
ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	
注意体制： 50 細胞/ml	警戒体制： 500 細胞/ml

※シャットネラ・オバータについては本県では基準密度を設定していませんが、同属のシャットネラ・アンティカ、マリーナと同等の注意や警戒をお願いします。

赤潮プランクトン調査結果 (海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深 (m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロボサ	シャットネラ・ベレキュロサ	コロディウム・ポリクリコイデス	ヘテロゾガ・アガオ
H2	0	0	0	0	130.0	0	0	2.7	0
	5	0	0	0	72.0	0	0	0	0
	10	0	0	0	62.7	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	11.4	0	0	0	0
H28	0	0	0	0	5.3	0	0	0	0
	5	0	0	0	2.0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
H30	0	0	0	0	38.7	0	0	54.7	0
	5	0	0	1.3	13.3	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
H31	0	0	0	0.7	3.3	0	0	5.3	0
	5	0	0	4.0	22.7	0	0	0	0
	B-1	0	0	2.0	16.7	0	0	0	0
Bz1	0	0	0	0	117.3	0	0	29.3	0
	5	0	0	0	21.3	0	0	2.7	0
	10	0	0	0	7.3	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0.7	0	0	0	0
Bz2	0	0	0	0	3.3	0	0	0	0
	5	0	0	0	91.3	0	0	0	0
	10	0	0	0	52.7	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時1 (西島北側・湾奥)	0	0	0	0.7	50.0	0	0	0	0
	5	0	0	0	131.3	0	0	0	0
臨時2 (西島北側・湾口)	0	0	0	0	12.0	0	0	0	0
	5	0	0	0	113.3	0	0	0	0

【今後の調査予定】 次回は8月20~21日に定期調査(大阪湾・紀伊水道)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報AK-02-12号」として発行予定です。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター (担当：水産環境部 宮原、中桐)
Tel : 078-941-8602 Fax : 078-941-8604 Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>